

令和2年度第3回宇部市高齢者福祉計画審議会会議録

日時：令和3年2月16日（火）19時00分～20時30分

場所：宇部市総合福祉会館

出席者：【委員】16名出席

【事務局】13名出席

【傍聴者】なし

1 健康福祉部次長あいさつ

2 第8期宇部市高齢者福祉計画の策定について

（事務局） 計画の最終案について説明。

- ・パブリックコメントの報告
- ・基本目標とその対応施策の説明
- ・介護保険料について

（委員） 基本目標の「健やか」について、宇部市は特定健診の受診率が低い。医師会としても受診率アップということを頑張りたい。

（委員） 歯周病の健診は公的に全体的に行っているわけではないが、定期的に歯科に来られる方と、痛いときのみに来られる方は、明らかに口の中の状態、全身の状態が違う。定期的に来る方は自分の足で来られる方（健康な方）が多い。10年後、20年後を考え、検診率が上がると良い。

（委員） 通いの場について、コロナ禍で誘いにくいこともある。体調の悪い方は、参加しないようにしてもらっている。今後少しずつ状況が変わっていくと思うので、また参加率が増えていけばいいと思う。

（委員） 専門職派遣について、圏域ごとでどれくらいの派遣件数なのか。また、圏域ごとに担当者が積極的に関わるシステムを作ったかどうか。

（事務局） コロナ禍で低調に推移している状況で、令和2年度の実績見込みは3件。圏域別の数字は今持ち合わせていないが、派遣側の都合

や希望地域など、調整はしていきたい。専門職派遣事業はアンケートでも良好な意見をいただいている。コロナ禍でサロン自体が閉じてしまっているという状況もあるが、サロンが再開しうまく機能した際には、先ほどの意見も含めて効果的な展開をしていきたい。

(委員) 尊厳について、成年後見人制度の利用はハードルが高いように感じている。広く利用しやすくしてほしい。

(委員) 成年後見人制度について、コロナ禍で遠方の家族が来宇できないことも考えられ、これから必要になる制度。手続きが複雑などのイメージが付いているので、説明しても敬遠される。認知症カフェに関しても、コロナ禍で病院内部のみで行ったり、中止されていたりする。タブレットなど ICT を使って少しでも交流できると良い。交流が減ることによって精神的にも身体的にも低下すると感じている。

(事務局) 令和2年4月より市役所1階地域福祉指導監査課の窓口に宇部市成年後見センターが開設されました。センター長は弁護士が就任しており、相談を受ける社会福祉士の資格を持つ職員も2名配置しております。窓口や電話で些細なことでもご相談があれば職員がきちんと対応します。また、成年後見制度の利用促進計画を今年度中に策定予定です。

(委員) 要介護認定者数の状況と推計、認定者数の推計が2020年から毎年100人以上増えていくということが見込まれている。介護保険財源が少し心配と考えている。

(会長) いろいろ意見があったが、事務局から説明のあった第8期の計画案について、承認ということでよいか。

(委員) 承認。

<審議会終了>